

年頭あいさつ

魅力ある元気な町をめざして



神崎町議会議長
石井 正 夫

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には希望に満ちた清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、議会活動につきまして、皆様のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、関東地方の記録的大雪、御嶽山の噴火などの自然災害の発生、一方、ソチオリンピックでの日本の活躍、富岡製糸場などの文化遺産登録、3人のノーベル物理学賞受賞など明るい話題も多い年となりました。しかし、国内経済は、米価の大幅下落、株価の上昇や円安の進行、国内総生産の減、消費増税判断の衆議院の解散など一部に回復基調が見ら

れるが、全体として慎重さや弱さが見られる状況でした。

本町においては、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）神崎インターが4月に開通しました。6月には、今・高谷部が消防協会香取支部ポンプ操法大会で9年連続の優勝、10月には道の駅「発酵の里こうざき」の起工式があり、本年4月の開業に向け工事が進んでいます。

本年は、圏央道大栄ジャンクションまでの開通や、新浄水場からの給水開始、道の駅の開業など本町の雇用の創出、観光・農商工業の活性化、情報の受発信など大きな変化の年となります。また、町制施行60年の節目を迎え、先人の築かれた伝統を守り育てながら新たな変化を融合した新生神崎のスタートとなります。

地方の時代といわれて久しいなか、地方が自ら考え責任を持つて取り組むことが重要です。人口減少・超高齢化という大きな課題に対し、地方自らが、地域の特性に合った地域課題の解決を図り、若

い世代の就労・結婚・子育てを支援し、活気ある地域を創る「地方創生」の端緒となり、魅力ある元気な「神崎」の原動力となることを期待するものです。

我々議員も、一人ひとりが議会の使命と議員の職責を認識し、品位ある議会運営・議員活動を実践し、二元代表制の一方の担い手として、町の発展、住民福祉の向上をめざし、その実現に努力してまいります。

結びに、町民の皆様のご多幸をお祈りするとともに、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



平成27年春にオープン予定の道の駅「発酵の里 こうざき」イメージ図